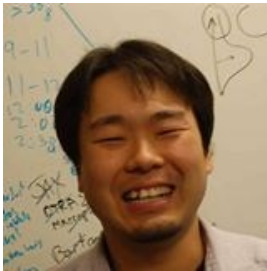


医療健康情報技術研究センター 2015年度第1回講演会

The 1st HiMED Seminar (FY2015)

2015年5月18日(月)16:20 ~ 17:50 5号館 5204 教室
MAY 18, 2015, 0420PM-0550PM@5204

Invited talk



Professor Hiroharu Kawanaka,
PH. D. (ENGINEERING), PH. D.(MEDICAL SCIENCE)
MIE UNIVERSITY
三重大学大学院 工学研究科
川中 普晴 (かわなか ひろはる) 先生

LECTURE TITLE

医療情報システムの今・昔・未来 ～ 医療情報学に関する研究開発と医工連携・ベンチャー支援～ *PAST, NOW AND FUTURE OF MEDICAL INFORMATION SYSTEM -R&D OF MEDICAL INFORMATICS AND MEDICAL-ENGINEERING COLLABORATION AND INCUBATION*

概要： 1969年、L. L. WeedによってPOSによる診療録(Problem Oriented Medical Record: POMR)の記載方法が提唱され、診療録はより科学的な臨床の経過記録へと変わりました。その後、多くのベンダーによって開発された電子カルテシステムもPOMRの考え方に基づいたものとして発展していきます。また、それに伴って医療情報学という複合領域分野も生まれ、現在は多くの研究者によって医療情報学に関する研究が進められています。

本講演では、電子カルテをはじめとした病院情報システムの黎明期から現在に至るまでの研究開発の歴史と、医療情報学に関する最近の研究動向について紹介いたします。また、我々の研究室で取り組んでいる研究プロジェクトについても、その一部を紹介いたします。これまでに携わった産-学・学-学連携プロジェクト事例や自らの起業経験を振り返り、「産-学&医-工連携研究プロジェクトを成功させるために必要なものは何か？」についても議論します。



Language(言語) : Japanese (日本語)
問合せ先 : 工学研究科 電気系工学専攻 小橋昌司 079-267-4989
Contact: Syoji Kobashi, kobashi@eng.u-hyogo.ac.jp